

令和6年度第3回 社会教育委員会議
議 事 要 旨

- 1 開催日時：令和6年12月17日（火） 14:00-15:00
開催場所：八尾市立青少年センター3階 集会室
出席委員：眞鍋委員・二宮委員・田中委員・角田委員・村尾委員・
吉野委員・赤松委員・中道委員・山根委員（順不同）

2 議事案件

- 1 令和6年度第2回社会教育委員会議録の承認について
2 報告事項について
【生涯学習課】
① 第64回八尾市こども会連合親善ソフトボール大会結果について
② 第32回こどもフェスティバルの開催について
③ フェスタかがやき2025の開催について
④ 八尾市生涯学習センターの指定管理者指定の期間変更について
⑤ 八尾市における生涯学習のあり方について
⑥ 生涯学習に関するアンケート調査報告書について
【観光・文化財課】
⑦ 観光・文化財課関連事業（令和7年1～3月）について
【文化・スポーツ振興課】
⑧ 文化・スポーツ振興課事業概要（令和7年1～3月）について
3 その他
・令和6年度大阪府社会教育研究会議について
・令和6年度中河内・南河内地区社会教育委員研究協議会について

3 意見交換の概要（○：委員、●：事務局）

- 1 令和6年度第2回社会教育委員会議録の承認について
※全委員異議なし
2 報告事項について
○生涯学習のあり方とアンケートの報告書について、よくまとめられていると思いますが、それぞれボリュームがありますので、1枚でまとめた概要版のようなものを作成されてはどうでしょうか。あと、アンケート調査をみていると、男性の回答が少ないことが気になるところで、今後、男性も参加しやすい取り組みが必要であると感じます。それから、生涯学習に関する情報発信についても積極的に取り組んでいただきたいと思います。
●概要版の作成についてのご意見ありがとうございます。前向きに検討していきたいと思います。また、情報発信にも積極的に取り組み、今回のアンケート調査で回答が少なかった男性や若い世代に対してアプローチできればと考えています。
○第4章の「施策の展開」のところに、「人生100年時代を見据えた生涯学習の実

現」とあり、個人が学んだことを地域に還元することで地域力の向上につながるという視点はとても大切だと思います。誰一人取り残さないようこれからも取り組んでいただきたいと思います。

- 委員ご指摘のとおり、基本的な視点として、学びと活動の循環を大切にしながら、生涯学習に関する取り組みを進めていきたいと思っています。
- わたしは昨年から地域でダンスサークルの活動を始めたのですが、どのように活動したらいいのか迷うこともありました。そういった悩みを気軽に相談できる窓口があることを知りましたので、今後、サークル活動を展開するにあたり活用していきたいと思っています。また、私のように、相談窓口があることを知らない方も多いため、積極的に情報発信されたら良いと思っています。
- 生涯学習に関する相談窓口についてのご意見かと思っています。市としても、相談窓口の充実は重要だと考えておりますので、指定管理者も含めて、丁寧な対応をしていきたいと思っています。
- 生涯学習の定義に、文化活動やスポーツ活動など様々な場や機会において行う学習とされてます。今後、取り組みを進める際には、あらゆる観点から、生涯学習につなげていくということが有効ではないかと思っています。また、アンケート調査の結果をみると、60歳代以上の回答が多く、若い世代の声が届いていないのではないかと気がなります。私は、PTAの役員として、子どもたちを主役にした事業を行い、まちづくりに繋がりたいと日々取り組んでいます。行政が今後の取り組みを進められるときには、地域や民間企業と連携したまちづくりを検討していただけたらと思います。
- 生涯学習の取り組みについて、教育委員会だけではなく、文化・スポーツに関する部署や地域コミュニティに関する部署などを含め、行政全体で取り組んでいく必要があると考えております。また、今後は、民間事業者とも積極的に連携し、事業展開していただくことができればと考えております。今回のアンケート調査について、若い世代が回答しやすいようWEB方式を併用するなどしましたが、効果的ではなかったため、今後のアンケート調査を行うにあたっては、より効果的な方法を研究していきたいと考えます。
- 先ほどの委員のご意見は大変良いと思います。生涯学習の取り組みを進めるにあたり、民間企業の協力は必要だと思います。商工会議所との連携も検討いただきたいと思います。
- 貴重なご意見ありがとうございます。今後の参考とさせていただきます。
- 第1章にあるように、教育基本法第3条には生涯学習の理念が明記されています。子どもたちの学びを学校だけで終わらせるのではなく、卒業後も続けていくことができるよう、子どもたちを育成することが学校教育の務めだと感じました。また、アンケート調査によると、公共施設に近い小学校区では、公共施設を利用したいという意見が多く、公共施設が近くにない小学校区では、インターネットを活用した取り組みに興味があるという結果が出ていたのが興味深く感じました。
- 少し話は逸れるかもしれませんが、国の第4期教育振興基本計画において、部

活動の地域連携や地域クラブ活動への移行に向けた環境の一体的な整備が掲げられていますが、八尾市の取り組み状況について教えていただけますでしょうか。

- 八尾市においても国の動きにあわせ、部活動改革に向けた検討を行うため、令和4年度に検討会議を設置し、令和5年度に、「八尾市における部活動等のあり方に関する方針」を策定のうえ、令和6年度からは、サッカー部・軟式野球部・吹奏楽部でモデル事業を行い、八尾市の実情に応じた部活動のあり方について検討しているところでございます。
- 先ほどの委員からも指摘がありましたように、今回のアンケート調査の結果に年代や性別に偏りがあったと感じます。今後もあり方については、定期的に見直しをされるということなので、次回のアンケート調査では、年齢や性別の抽出方法に工夫をしていただき、統計上、信頼性が高いものとなるようしていただきたいと思っております。ただ、今回のアンケートについても、60歳代以降の女性がどのような意見であるかを把握するために有効であったと思っております。特に、情報の取得方法について、市政だよりの割合が極めて高いことが興味深かったです。
- 貴重なご意見ありがとうございます。アンケートの調査方法については課題があると認識しております。次回の調査において、改善させていただきます。
- アンケートの調査方法についてですが、財政難の状況のおり、対象者を無作為抽出して郵送するという方法は難しいと思っておりますが、WEBによる方式だと、回答者が偏ってしまう可能性も出てきます。私が過去にアンケート調査を実施したときは、事前に年齢や性別に偏りなくモニター登録した人を対象にアンケート調査をすることにより、回答者の偏りをなくすようにしておりましたので、情報提供させていただきます。
- 貴重なご意見ありがとうございます。今後の参考とさせていただきます。他に意見はありませんでしょうか。それでは、八尾市における生涯学習のあり方について補足説明させていただきます。本日の意見交換を踏まえて、追加で質問が出た場合のために、机上に質問用紙を配付しております。お忙しいところ恐縮ですが、追加の質問事項や確認事項がございましたら、12月27日までに用紙を提出くださいますようお願いいたします。
- 八尾市における生涯学習のあり方についてですが、本日の議論をもとに、我々と事務局で協議のうえ、社会教育委員会議としての意見を確定していくということで、一任いただいてよろしいでしょうか。

※全委員異議なし

- それでは、八尾市における生涯学習のあり方について今後の流れを説明いたします。本日の意見交換とそれを踏まえての質問事項を反映させた最終案については、1月28日に開催予定の「令和6年度中河内・南河内地区社会教育委員研究協議会」のときにお示しさせていただけたらと考えております。その後、2月20日開催予定の八尾市定例教育委員会に諮り、内容を確定させていきたいと考えております。

4 その他

- ・令和6年度大阪府社会教育研究会議についての報告。
※山根委員が参加予定
- ・令和6年度中河内・南河内地区社会教育委員研究協議会について、要項が確定したことを報告し、当日の流れを説明。